

成田よしのり 初当選からの4年間

29歳で市議会議員選挙に挑戦し初当選することができました。若い世代の代弁と先輩方の意思を継ぎ、四街道市の未来に責任を持たなければならないと考えています。4年間で得た結論は、“もっと良くなるはずの街”であるということです。

	2008年	2009年	2010年	2011年
○活動	○初当選の3人で是々非々を基本に会派(清流)を立上。専門用語の意味を調べることから始めて、行政独特の言い回しを理解するのに時間がかかったのを覚えています。また、何のために議員になったのかを意識して流されないよう自問しながら過ごした1年間でした。	○発言のチャンスが増えました。環境経済常任委員会副委員長として、委員会や議会内で発言するチャンスが増えました。市に足りない点や、解決策について、先進事例を参考に、いいものにはチャレンジすべきとだと思いました。	○公共政策修士となりました。大学院修士課程を終了しました。学べば学ぶほど、現場の声がいかに大切であるかを感じました。少しずつですが、夏祭りなど地元の行事に参加し、様々なご意見を聞くことが出来ました。	○災害ボランティアに参加しました。約1か月、宮城県で震災ボランティア活動をしました。この体験を、四街道市の備えにしたいと思います。また、独自に放射線量の測定をするなど、情報提供に心がけています。
◎主な議会質問	◎PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)による効率行政を求めました。 ◎子育て環境の整備に伴う四街道駅南口に保育施設の設置を訴えました。 ◎健康増進による社会保障費の抑制を訴えるほか、自助・共助・公助の必要性を主張しました。 ◎市長の与党、野党という立場でなく、二元代表制本来の議会運営を訴えました。	◎ワンストップサービスによる市民サービスの向上と、効率的な行政運営を要請しました。 ◎地元農作物の学校給食への利用増進をお願いしました。現在は、地元産品がそれまでの2倍ほどになりました。 ◎高齢者向けのサービスを分かりやすく周知するよう要望しました。 ◎公共施設の耐震工事を訴えました。	◎スクールカウンセラーの時間増を訴え、年間で約60時間以上の増となりました。 ◎排水インフラの整備等、必要な場所への早期対応を求めました。 ◎「みんなで地域づくりセンター」によるコミュニティの強化を訴えました。 ◎四街道駅南口ロータリーの供用や交通不便地域の解消をお願いしました。	◎BCP(業務継続計画)導入を訴え、災害対策強化を図りました。 ◎放射能の被害防止対策をお願いしました。 ◎災害時備蓄品(アレルギー用等を含む)増加を訴えました。 ◎コミュニティビジネスの具体案として、ワンデイシェフ導入の促進をお願いしました。
★提言	★政治、行政不信の原因の一つに何をやっているか分からないという事が挙げられると考えます。市政だより等に載せているからではなく、情報は相手に届いて意味をなしますので、再考すべきものと考えます。(平成20年6月一般質問より)	★事務事業の見直しの仕方自体を変更することによって、より効率的かつ効果的な結果を生み出します。目的は四街道市をより良くする事です。大切なのは手段を目的化させない事です。(平成21年9月一般質問より)	★地域課題の解決には、ボランティアだけでは荷が重く、行政では予算の関係から難しい事も多くあります。これらを解決させる手段として、コミュニティビジネスを展開する事が必要です。(平成22年6月一般質問より)	★四街道市に限らず日本の課題はデフレの解消です。地域経済の活性化や子育て環境の整備等、地域においてもデフレを克服する行動が重要だと考えます。(平成23年9月一般質問より)

【自己判定】



- 行動力：(70点) 自分自身で納得できなければ行動はできません。まずは調べる事を第一に活動を続けました。
- 発信力：(65点) ホームページで、日々の活動を掲載しています。(チラシ配布は全世帯まで届けることが難しい状況でした。)
- 提案度：(80点) メリットデメリットを精査し、四街道市に必要な施策を訴えて、課題の解決に努めました。
- 信頼度：(45点) 若さの裏側でもあり、先輩議員のような安定感や信頼はまだまだです。
- 認知度：(35点) チラシ配布の際に初めて知ったとの声が多くありました。(いろいろな意味で頑張らなければ、と思いました。)

【総評】本来点数は皆様が付けて下さるものです。

1年生議員ながら、改善できる点を多く見つけることが出来ました。また、わずかながら達成できた部分もあります。ですが、皆様に“良くなったね”と感じていただく事が、結果(評価)だと考えています。